

Bangladeshにおける環境教育活動に関心がある、意見交換したい、インターンを考えている、一緒に協働プロジェクトを実施したい等がございましたら、お気軽にご相談下さい!

✉ hideki_sato@jeef.or.jp
☎ 03-5834-2897

佐藤秀樹 (国際事業部チーフコンサルタント)

JICA 青年海外協力隊員 (派遣国: エクアドル、職種: 野菜栽培)、農業・農村開発コンサルティング会社を経て2010年9月から、JEEFの国際事業部に勤務。主として、Bangladeshにおいて環境教育の技能を活用した住民による持続可能な地域づくりの活動を実施中。



Bangladesh

現地からの環境レポート

国際コラムパート2
第6回

SDGsの視点から環境問題解決へ向けて

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 世界を変えるための17の目標

向けての取組みを写真を使って、17のSDGsに当てはめてみました。この図を観ながら最貧国の一つと言われる Bangladeshでの持続可能な開発について、皆さんも考えて頂ければと思います。

※ 1,2,3: 国際連合広報センター
http://www.un.org/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/

これまで6回にわたり、Bangladeshからの環境問題やその取り組み等を紹介してきました。地球温暖化、廃棄物、生物多様性等に関わる環境問題は同国の社会経済や文化と密接な関わりを持っており、分野横断的な視点からその解決へ向けたアプローチを考えていく必要があります。

その切り口の一つとして考えられるのが、皆さんもご存知の国連が定めた2030年までの未来に向けた17の国際目標「SDGs (持続可能な開発目標) (※1)」です。持続可能な開発とは、将来の世代がそのニーズを充足する能力を損なわずに、現世代のニーズを充足する開発と定義されています(※2)。持続可能な開発を推進するために「経済成長」、「社会的包摂」、「環境保護」という3つの主要素を相互に調和させることが不可欠です(※3)。

これまで筆者が Bangladeshの現場で把握してきた環境、社会経済の主な課題やその解決へ



1 貧困をなくそう
貧しい人たちの生活改善 (ごみ拾いをして暮らす人たち)



2 飢餓をゼロに
気候変動等に適応力を持った、持続可能な農業システムの確立 (浸水に配慮したポット栽培)



3 すべての人に健康と福祉を
健康的な生活の確保と福祉の推進 (レンガ工場から排出される煙)



4 質の高い教育をみんなに
包摂的かつ公正な質の高い教育の提供 (ごみ拾い人への識字教育)



5 ジェンダー平等を実現しよう
女性の能力強化の促進 (漁師の女性によるマングローブピクルスの開発)



6 安全な水とトイレを世界中に
水と衛生の持続的な利用・管理 (安全・安心な飲み水をくみに長い道のりを歩く女性)



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
安価で信頼のおける近代的エネルギーへのアクセスの確保 (家畜排せつ物を燃料にした調理への利用)



8 働きがいも経済成長も
人間らしい雇用の促進 (レンガ工場の労働者)



9 産業と技術革新の基盤をつくろう
人に豊かさをもたらす質の高い強靱なインフラ基盤の整備 (洪水や暴風から地域を守るマングローブ林によるグリーンインフラ)



10 人や国の不平等をなくそう
国内の所得格差等の是正 (エビ加工工場で働く女性)



11 住み続けられるまちづくりを
安全な生活環境の提供による人間居住空間の実現 (下水処理施設の未整備)



12 つくる責任 つかう責任
持続可能な生産消費の形態の確保と管理 (エビ需要を満たすために拡大を続けるエビ養殖場)



13 気候変動に具体的な対策を
自然災害への適応力の強化 (サイクロン、アキラ-2009年)



14 海の豊かさを守ろう
持続可能な海洋資源の管理と利用 (小エビ漁)



15 陸の豊かさを守ろう
森林や陸域生態系の保全 (マングローブ植林)



16 平和と公正をすべての人に
平和で包摂的な社会の促進 (2016年5月22日「生物多様性の日」における地域での普及啓発活動)



17 パートナリシップで目標を達成しよう
様々なステークホルダーによるパートナーシップ (市役所、大学、医師、ジャーナリスト、住民、NGO等による廃棄物管理委員会の結成)

次回からは、「開発途上地域 (アジア) のローカルデザイン」をテーマとし、地域をどのようにデザインしながら環境保全、貧困削減や地域振興を図っていくのか。特に「教育による地域づくりのデザイン」の視点を重視したコラムを6回にわたり報告する予定です。ご期待下さい!

文責: 佐藤秀樹
(国際事業部チーフコンサルタント)

